

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はじめのいっぽ東札幌		
○保護者評価実施期間	7年 12月 1日		7年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		7年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	8年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境の構造化を心がけ、目で見てわかるようにしている	順番や、ルールが目で見えて理解できることで、自分で出来た事が増え、自信へ繋がるように心がけている	子ども達が自信を持って様々なことに挑戦していけるように、活動を見守りながら分かりやすい支援を継続していく
2	ホームページ、インスタグラム、LINEを活用した情報の発信	LINEでは来所時の様子を写真と文章共に保護者様と共有している。 Instagramは支援内容を毎日更新し、児童や保護者に支援内容を周知するとともに、不特定多数の方にも認知が広がるよう意識している。	保護者様に対しては、より分かりやすさや伝わりやすさを心掛け、発達段階や成長の共通理解を深めていく。 Instagramの長所を活かし、表方発信の幅を広げていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族参加の研修や行事実施の難しさ	就労状況により不要と感じている保護者様も多い。 参加しやすい日時や場所、内容の設定に困難さを感じている。	研修講座など学習要素が強いものだけでなく、純粹に児童が家族と一緒に楽しめたり、参加者同士が交流したりできるような行事なども検討していきたい。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 はじめのいっぽ楽札幌

公表日 8年 3月

利用児童数 8名

回収数 7名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7				子ども達が伸び伸びと活動したり、遊んでいる 広くて過ごしやすい	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7				児童人数が少なくても手厚い支援をしている 一人一人の子どもをしかり見る事が出来る配置数 だと思う	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7				絵本は子ども達が手に取ることが出来る 位置に配置されている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7				清潔で個別の活動も楽しくできる環境で ある	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7				子どもの特性を把握して、それに合った 個別療育をしている	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7				言語や運動など幅広く支援を行っている	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7				子どもの伸ばしたいところをしっかりと把握して保護者のニーズに合った計画をしている	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7				子どもの特性に合った支援や、保護者の 要望や悩みと向き合って一緒に考えられる	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7				身の回りのことを自分で出来るようにし たり、コミュニケーションの向上を支援 している	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7				その時に合った様々なプログラムを実施 している	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1			保育所との情報共有はされているが、他 の子どもとの活動は少ない	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7				責任者から全て丁寧な説明があった	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7				計画に沿った支援を行っていく説明があ った	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	4		1	2	今後は研修会なども検討して欲しい	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7				LINEの活用や、送迎時に情報共有して いる	
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7				家庭訪問による支援がされている	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7				保護者の立場も考えて向き合ってくれる ので安心している	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4		1	3	保護者同士の交流は今のところないが、 必要性をあまり感じられない	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				相談事がある時は、迅速に対応しても らっている	
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				LINEで情報共有されている	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7				ホームページやSNSで活動内容を常に発 信している	
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				利用者や家族の情報を漏らすことなど徹 底している	
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		2	避難訓練は子どもから実施したことを聞いて いる。 マニュアル等は定期的に周知して欲しい	
非 常 時 等 の 対 応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			1	毎月実施されている 子どもから聞いている SNSで発信されている	
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1			安全は日々確保しているが、具体的な計 画を定期的に周知して欲しい	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				契約時に事故などの対応について説明が されている	
	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	7				ほとんど嫌がることなく毎日笑顔で楽し んでいる	
満 足 度	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				その日行ったことを覚えてくれたり、先生や 友達の名前を覚えて楽しみにしている。 土曜日・休日でも行きたいと言っている	
	29 事業所の支援に満足していますか。	7				子どもに寄り添った手厚い支援をしてくだ り、今後も継続して利用したい。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		はじめのいっしょ児童館		公表日		8月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数等は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく機軸化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8				
	7	保護者向け評価等により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8			
	10	職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	毎々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、発達支援計画を作成しているか。	8				
	13	発達支援計画を作成する際には、発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	発達支援計画には、発達支援ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と単日活動を適宜組み合わせて発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8				
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、互いに学び合っているか。	8				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				
	23	定期的にモニタリングを行い、発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1			
	26	移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
	29	地域の他の発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上を目指す取組を行っているか。					
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	32	(31は、事業所のみ回答)					
	33	地域の発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1			
保護者への説明等	34	保護所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	2	6			
	35	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
	36	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8				
	37	発達過程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	6			
	38	発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
	39	「発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から発達支援計画の同意を得ているか。	8				
	40	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
	41	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8			
	42	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	43	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8				
非常時の対応	44	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				
	45	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	46	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4			
	47	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8				
	48	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				
	49	事前に、感染症や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8				
	50	食育アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8				
	51	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				
	52	こどもの安全確保に際して、関係等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	8				
	53	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8				
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8					
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援計画に記載しているか。	7	1				